

7 意見・要望一覧 ※一部抜粋

地域に自主防災組織というものがある事も知らない方もいます。その前提で啓発、広報等をお願いしたいです。

市内各地区それぞれ災害危険箇所などハザードの状況が異なっているため、それに合わせて市からの避難や支援方法の提示があるとそれぞれの地区内での訓練や活動計画が立てやすくなると思う。

自主防災組織として高いレベルを要求されても出来ないと思う。

各コミュニティ会単位の「研修会」や各自主防災会の活動状況等の情報が欲しい。

土砂災害(大雨時)が発生する可能性が高い地域ですが指定緊急避難場所までは遠く、又、途中で危険箇所があり全く行く人がいません。地域内での避難所の充実、連絡体制が重要である。

自主防災組織はあってもこれまで実際に活動した災害はないので名前だけの組織になっています。又、実際には指定緊急避難場所への避難だけでなく、「自宅避難」「避難所利用」「親戚等へ避難」等もあるで、どのような訓練が必要か災害が多い地域での状況を知りたいと思います。

防災マニュアルおよび防災マップの市民への配布をお願いしたい。

若者、子供の急激な減少は地域のコミュニティ意識と行動にも影響している。税負担は年々増しており納税し生活する為にも働かなければならない中で、昔からある地域行事に加えて行政面での様々な役割が負担となっている。人口は減り役割は増える。少子化による人口減は全ての社会問題に直結している。

組織を作っているだけで平時の活動ができていない。研修会や講習会の参加で終わっており、災害時を想定した訓練などは参加者の都合や費用面でも課題がある。

災害・防災のビデオ活用による意識高揚を図ってほしい。

地域全体の高齢化、人口減少、高齢単身世帯の増加、就業形態の変化、価値観の多様化等のなか、消防団員や班長をはじめ地区内各組織の人員確保もままならず、一部役員に過重な負担が掛かっている。このままでは、自主防災組織体制の維持も困難である。また、地域によって取り巻く状況が違うと思うので、体制や内容のスリム化が必要ではないか。

当地区には高齢者が多く、災害時にどのように避難させるかが課題である。

花巻市防災士会の活動について知りたいです。

私共の地域には見守りが必要な世帯がたくさんあります。個別避難計画作成だけにこだわらず、広い視点に立って地域全体で要支援者を支えていけるような仕組みづくりが必要と感じています。

チラシや広報物、HPなど、それぞれの自主防災組織が啓発活動や訓練で活用できる広報素材や媒体を紹介して欲しい。自主的に地区住民への周知や学習会を企画したくても材料が乏しく、厳しい状況である。

要支援者の手助けをする人員が少ないため、要支援者が増えると不安である。自治会の役員のなり手もなく心配。

自主防災組織への支援策として活動費を補助していただきたい。

防災組織の代表者は、任期の短い区長や館長ではなく、防災士資格や専門知識のある方にお願いしたいと思う。

大きな災害を経験していないため防災意識が低く、その意識改革が難しい。

広報などでマイタイムラインの説明があればよいと思う。